

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	夏休み学童保育事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	合志良一
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名	牧野淳一
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援	所属班	子ども保育班	(内線)	2158
				法令根拠	合志市夏休み学童保育事業実施要綱		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	3	2	4	10569			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
 夏期休業期間において、各小学校学童クラブに加入していない小学校低学年児童の預かりを行う。  
 【業務の流れ】  
 ①夏休み学童保育事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤支出負担行為 ⑤実績報告書・請求書受付、審査 ⑥支出命令書  
 【主な予算費目】  
 委託料 500千円

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・平成20年度に同じ
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・夏休み学童保育事業を委託により実施		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 夏休み学童保育を開設した日数 日 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 学童クラブに行っていない小学校低学年の児童		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 学童クラブに行っていない低学年の児童数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・仕事と子育ての両立支援を図る。 ・夏休みにおける児童の安全、健全育成を図る。		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 夏休み学童保育を利用した児童数 人 イ 夏休み学童保育を利用した延児童数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・安心して仕事ができる。		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 子育てのために仕事に出られない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできないと答えた世帯の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	250	250	250	210	250	250	総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	250	250	250	271	290	250	250	
	(A) 事業費計	千円	500	500	500	500	500	500	500	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	90	90	90	40	40	40	40	
	(B)人件費計	千円	357	358	358	159	159	159	159	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	857	858	858	659	659	659	659	

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22 年度
活動指標	日	30	29	30	30	30	30	30	目 標 数 計 画  22 年度
対象指標	人	1347	1226	1335	1383	1450	1450	1450	
成果指標	人	10	13	20	20	20	20	20	
	人	177	229	300	360	300	300	300	
上位成果指標	%								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 平成18年度に行った子育て支援アンケートに実施要望が多かった。保護者からも電話での要望が寄せられた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 ・各小学校区で実施している学童クラブは、現在受入れが満杯の状態であり、夏休み期間だけの受入れは、不可能である。またふれあい館でのキッズクラブも定員を大きくオーバーしており、受入れできない。  
 ・5年前に比べて各学童クラブでの預り児童が増えてきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 ・保護者(利害関係者)から学童クラブの預かり定員を増やしてほしいとの要望がある。  
 ・夏休み期間だけでも預けられる学童クラブを今後も続けてほしい。

事務事業名	夏休み学童保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度的事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・子育てと仕事の両立の観点から整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・子育てと仕事の両立支援が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ ・対象、意図とも現状で適切である。 ・事業の対象は、夏休み等長期休業期間中、昼間保護者の居ない児童であり、支援を行うことは市の「子育てと仕事の両立支援」を図るため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・各地区の公民館等で児童の預かりが実施できれば、地域のなかで安心して子育てができる。 ・地域の老人会、ボランティアなどの協力が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・夏休み期間中の子どもの安全及び仕事の両立支援の観点から事業は必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・各小学校区で実施の学童クラブや保育園の小学校低学年受け入れが可能となれば、可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・児童の安全を確保するためには削減余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・最低限の事務で行っているため、今以上の削減余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・これまで西合志庁舎の議員控入室、議場等のスペースで実施していたものを、今年度は立割区老人憩の家で実施したが、立地場所が住宅地区から離れているため、住宅地区から距離があり利便性に欠ける。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、市の施策に合致しており妥当である。 ②有効性については、概ね有効であるが、別の方法を考える必要がある。 ③効率性については、受け入れが出来る施設の整備やその他の事業が整うまではこの事業は必要である。 ④公平性については、1箇所しかなく立地的に見直し余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
夏休み期間中のみ児童受け入れについては、現時点で、各小学校学童クラブや社協のキッズクラブ、また、保育園での小学校低学年受け入れである程度の受け入れはできていると考えるが、どうしても物理的、地理的、時間的に受け入れできていない児童がいるのも事実であるため、平成21年度は平成20年度同様に実施を計画している。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・本事業は夏休みだけの預かり事業であるため、冬休み、春休みの預かりの要望もある。そのため、地域の公民館等で地域のボランティアによる預かりが出来ないか検討する必要があるが、地域の理解と協力が得られるかが課題である。 また、各小学校学童クラブで、受け入れることができればこの事業は終了する。そのためには、学童クラブ室の整備を行う必要がある。
--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )